

# 標準テンプレート説明書

意匠(Archicad)

## 目次

### 標準テンプレート

### レイアウト(レイアウトブック)

### ビュー一覧の構成

図面リスト

概要書

求積図

平均地盤面測定図

平面図

立面図

断面図

### 凡例

外部仕上表

内部仕上表

防火区画図

### 防火区画図の各ツール設定

ドアツール

壁ツール

ラベルツール

ALVS 表

### 参考資料

テンプレート設定の読込手順

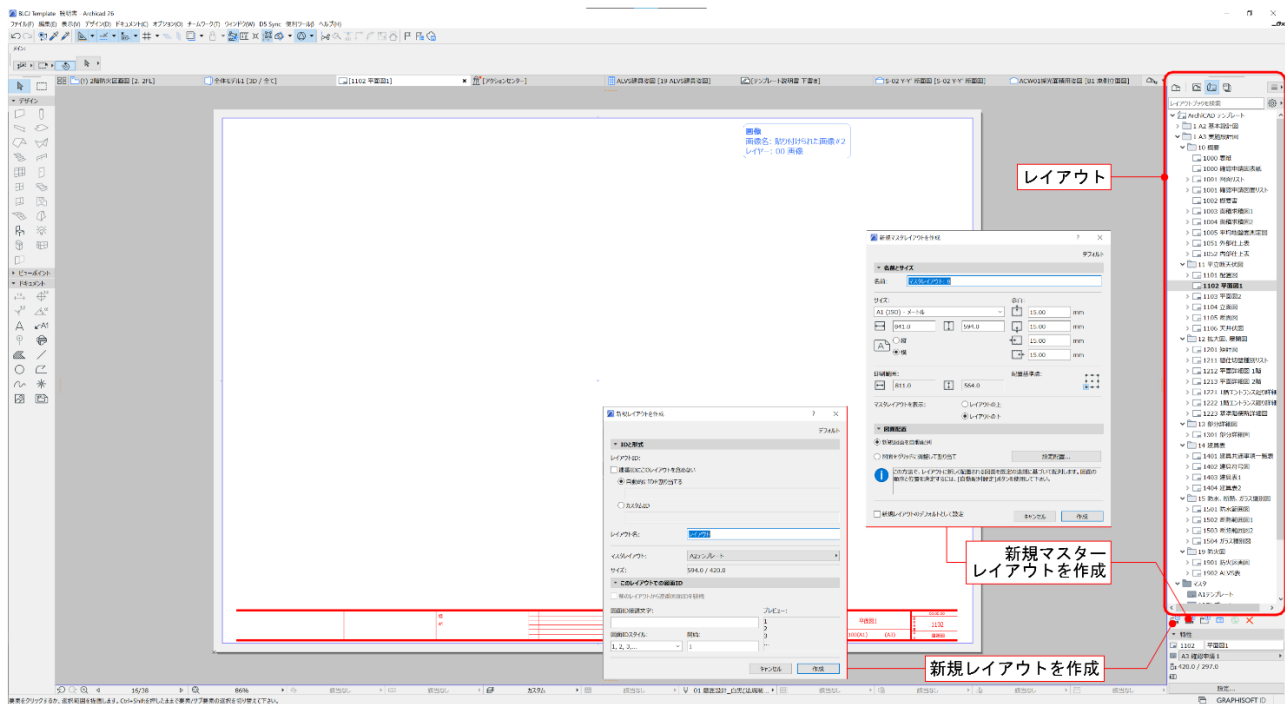
各属性設定一覧

# 標準テンプレート

## レイアウトブックの構成について

標準テンプレートにはサンプルモデルと同様に申請に必要なレイアウトが設定されている。平面図や立面断面図の不足分は複製又は「新規レイアウトを作成」にて追加していく。また、新たな分類のシートは「新規マスターレイアウトを作成」にて図面枠より追加して作成していく。

## レイアウトブックの構成



## レイアウト(レイアウトブック)

レイアウトブックの構成は下表の通り

### A000 概要

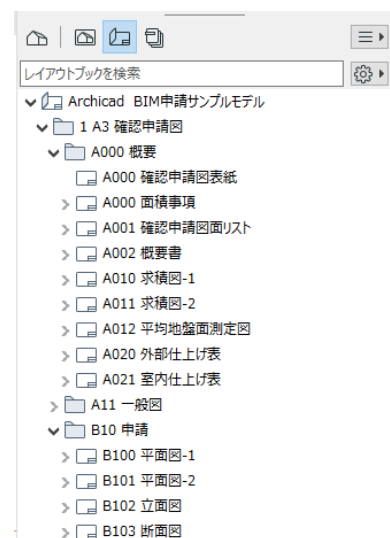
- A000 確認申請図表紙
- A000 確認申請図面リスト
- A002 概要書
- A010 求積図・平均地盤面測定図
- A020 外部仕上げ表
- A021 室内仕上げ表

### A10 一般図

配置図

### B10 申請

- B100 平面図-1
- B101 平面図-2
- B102 立面図
- B103 断面図



## ビュー一覧の構成

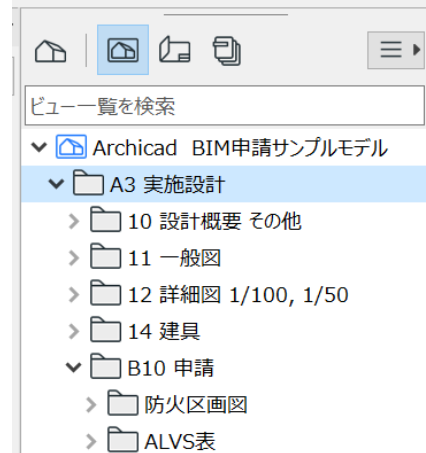
### ビュー一覧の構成について

テンプレートのビュー一覧では A3 実施設計フォルダの中に表紙パース、確認申請図面リスト、設計概要書等を格納した「10 設計概要 その他」、並立断面図を格納した「11 一般図」、「12 詳細図」、「14 建具」、防火区画図、ALVS 表を格納した「B10 申請」の各フォルダにビューを保存している。

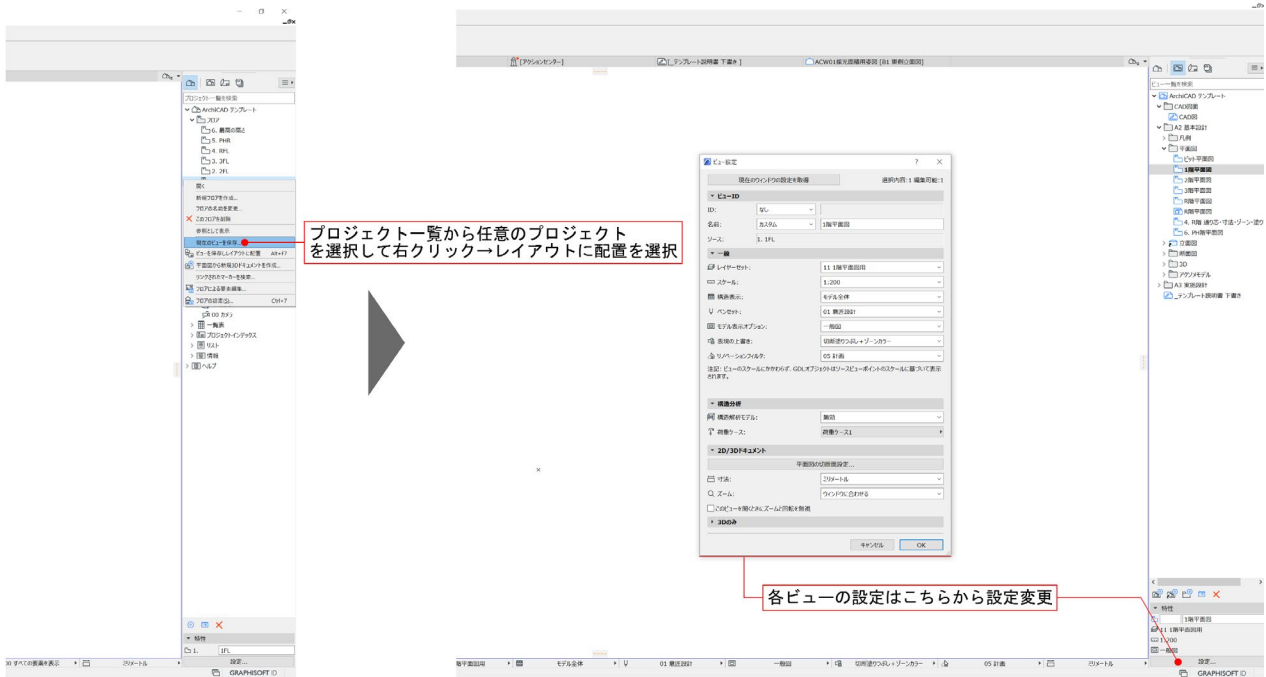
レイアウトしていないビューは参考資料として活用されたい。

各ビューの設定は保存したビュー一覧から設定を選択し、レイヤーセット、スケール、構造表示、ペンセット、モデル表示オプション、表現の上書き、リネーションフィルタ等の設定を選択し OK を押すことで保存できる。

### ビューの構成



### ビューの保存とビュー設定について



## ■ 図面リスト

### A001\_確認申請図面リスト

図面リストの外観パースは「プロジェクト一覧」>「3D」>「パース」で 3D ビューを表示し、ビュー一覧に視点を含む各種設定を保存して貼り付けるものである。

確認申請図面リストはプロジェクトインデックスとして作成し、「確認申請図」のステータスのレイアウトの「通し番号」、「レイアウトID」、「レイアウト名」、「A3 でのスケール」、「A1 でのスケール」を一覧表示されるように設定している。

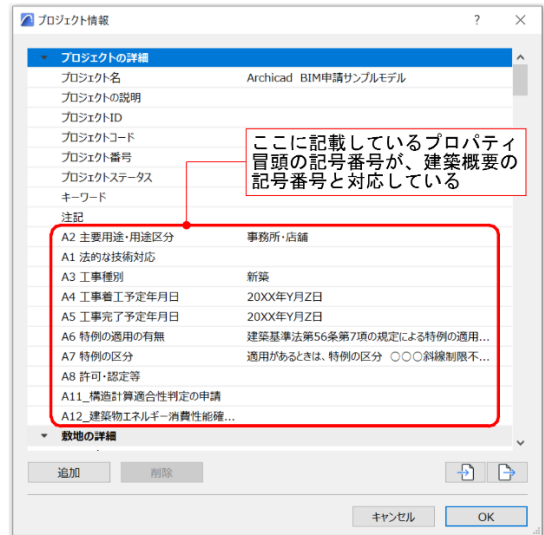
## ■ 概要書

### A002\_概要書

建築概要、昇降機設備概要を入力する。

建築概要は概要書に青字で記載している記号番号と「ファイル」>「情報」>「プロジェクト情報」に用意しているパラメータの記号番号と対応しており、プロジェクト情報に入力した情報が建築概要に自動転記されるようになっている。

昇降機設備概要は、モデル要素プロパティの一覧表「10 昇降機\_EV\_設備概要」をレイアウトに貼り付けている。



### 1. 建築概要 ※ ファイル> 情報> プロジェクト情報 (青字の項目) で入力

プロジェクト名	工事名称	Archicad BIM申請サンプルモデル	(申請部分)		(申請以外の部分)	(合計)			
敷地の住所	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇	敷地面積	359.65㎡	0㎡	359.65㎡	B9, 総敷地面積		
依頼人の氏名	建築主住所氏名	BLCJ	建築面積	279.77㎡	0㎡	279.77㎡	C7		
B1	都市計画区域及び準都市計画区域の内外の別等	都市計画区域内	建築率	77.78%			C8		
		延べ面積(建築物全体)	861.45㎡	0㎡	861.45㎡	C9			
B2	用途地域	商業地域	エレベーターの昇降路部分	20.94㎡	0㎡	20.94㎡	ここに入力		
B3		共同住宅の廊下等の部分							
B4	防火地域	防火地域	自動車倉庫等の部分						
B5	法定容積率	300%	備蓄倉庫の部分						
B6	法定建築率	80%(緩和より100%)	蓄電池の設置部分						
B7	その他の区域、地域、地区又は街区	無	自家発電設備設置部分						
			貯水槽設置部分						
			宅配ボックスの設置部分						
A1	法的な技術対応		住宅の部分						
			老人ホーム等の部分						
A2	主要用途用途区分	事務所・店舗	延べ面積(台帳対象)	840.51㎡			C10		
		容積率	233.70%				C11		
A3	工事種別	新築	駐車台数				C12		
C1			建築物の数	申請に係る建築物の数	1	同一敷地内の他の建築物の数		C13	
C2	主体構造	S造	最高の高さ	16.8m			C14		
C3	階数	地上3階/塔屋1階	最高の軒の高さ	16.86m (平均地盤面より)			C15		
C4	耐火・準耐火建築物	耐火建築物	平均地盤面の高さ	TP+3.061m			C16		
C5	防火対象物の用途区分	消防法施行令 別表第一 (十六) 項イ	設計地盤面	TP+3.00m(設計GLの高さ)			C17		
C6	基礎地業	直接基礎	基礎階	階高	4.0m	天井高	2.7m	C18	
			屋根	アスファルト防水外断熱工法の上、保護コンクリート	面積	279.76㎡		X	
			外壁	アルミカーテンウォール/素樹脂珪砂塗装 押出成形セメント板	主なスパン	6.4mx8.8m, 6.4mx4.2m			C19
			軒裏		基礎下端	1FL-2.06m			C20
A4	工事着手予定年月日	20XX年Y月Z日	その他				C21		
A5	工事完了予定年月日	20XX年Y月Z日							
			特例の適用の有無	建築基準法第56条第7項の規定による特例の適用の有無	無		A6		
			特例の区分	適用があるときは、特例の区分	〇〇斜線制限不適用		A7		
			許可・認定等				A8		

### 2. 昇降機設備概要 ※ 昇降機設備概要は、モデル要素プロパティの一覧表

## ■求積図

### A010\_求積図

#### 建築面積

建築面積求積図はゾーンツールにて建築面積求積用のゾーンで建築面積エリアを作成し、レイヤーセット「10 求積図\_建築面積」で建築面積求積用のゾーン以外を非表示にすることで作図している。建築面積求積表では当該ゾーンの「ゾーン名」、「測定面積」を一覧表示している。

#### 床面積

各階床面積求積図はゾーンツールにて床面積求積用のゾーンで床面積エリアを作成し、レイヤーセット「10 求積図\_床面積」で床面積求積用のゾーン以外を非表示にすることで作図している。床面積求積表では当該ゾーンの「容積対象/対象外」、「用途番号」、「基準法上用途」、「ゾーン名」、「求積図\_面積\_切り捨て」を一覧表示し、容積対象/対象外のパラメーターでグループ分けされるように設定している。

#### 面積表

面積表は一覧表で作成している。レイヤー「10 ゾーン\_求積」に表示されるゾーンを対象に「配置フロア名」、「容積対象面積」、容積対象外の各用途ごとの面積、「容積対象外合計」、「延べ面積」を一覧表示している。

面積表								
階	容積対象面積 (㎡)	容積対象外面積 (㎡)					容積対象外合計 (㎡)	延べ面積 (㎡)
		エレベーターの昇降路の部分	自動車車庫等の部分	自家発電設備の設置部分	備蓄倉庫の部分	貯水槽の設置部分		
RFL	28.307	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	28.307
3FL	272.983	6.786	0.000	0.000	0.000	0.000	6.786	279.769
2FL	272.983	6.786	0.000	0.000	0.000	0.000	6.786	279.769
1FL	266.231	6.786	0.000	0.000	0.000	0.000	6.786	273.017
	840.504	20.358	0.000	0.000	0.000	0.000	20.358	860.862

## ■平均地盤面測定図

### A012\_平均地盤面測定図

平均地盤面測定図と集計表は Forward ツールの「平均地盤面算定ツール」を使用して作成している。

## ■平面図

### A100\_配置図

建物の配置図を入力する。

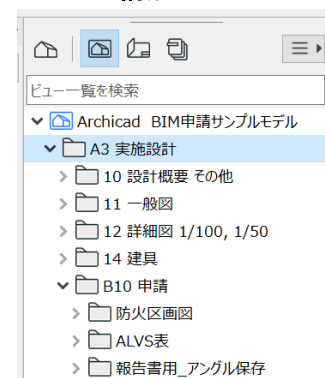
#### 敷地面積

敷地境界線および敷地周辺の情報を入力する。ビュー設定によって配置図用ラベルや寸法、ワークシートが表示されるようにレイヤーセットを整理している。

#### 1 階配置図

敷地境界線に関する情報(寸法、高低差、境界線の種別等)および1階の平面形状、入口、外構等配置図に必要な情報を入力する。

### ビューの構成



## B100\_平面図

各階の平面図を作成する。ビューの設定では平面図用に設定したレイヤーに入力した情報が表示されるようにしている。また、モデル表示オプションも平面図用に設定した耐火等級グラフィカルラベルが表示されるようにしているほか、表現の上書き設定により、ゾーンのプロパティにより排煙区分が色分表示されるように設定している。

### 排煙種別・面積表

各室面積、排煙種別の集計表

「排煙種別・面積表」で作成した部屋名、排煙区分、面積について表示する。

### 避難経路

避難経路の集計表。「避難経路」で作成した避難経路記号と避難経路距離について表示する。

### 凡例

防火区画図で使用した2Dオブジェクトの凡例を一覧表で集計する。立面図、断面図も同様に凡例を作成している。

各図で使用されたオブジェクトの「2D 平面 プレビュー」 「部位名」 「説明」プロパティを表示する。

## ■立面図

### B102\_立面図

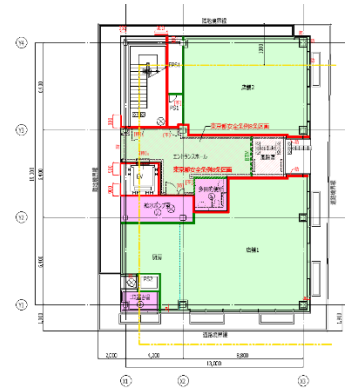
立面図ツールを使用して東西南北の四面の立面図を作図する。立面図の作成位置は「ビュー一覧」>「11 平面図」>「平面図」各階平面図より立面図作成位置を変更することができる。凡例は一覧表「11 外装仕上げ凡例」より、各要素の「説明」プロパティを自動参照するように設定している。

## ■断面図

### B103\_断面図(一般図)

断面図ツールを使用して断面図を作図する。断面図の作成位置は「ビュー一覧」>「11 平面図」>「平面図」各階平面図より断面図作成位置を変更することができる。

## 平面図



### 排煙種別・面積表

部屋名	排煙区分	面積 (m <sup>2</sup> )
1FL		
エントランスホール	機械排煙	33.348
ゴミ置き場	②	4.401
給水ポンプ室	②	10.494
厨房	機械排煙	22.206
多目的便所	②	6.201
店舗1	機械排煙	82.088
店舗2	機械排煙	67.136

### 避難経路 集計表

避難経路記号	避難経路距離 (mm)
A	22,027
B	19,248

### 凡例の集計表

	防火区画壁 (耐火等級: 120分)	0000 L 15
	扉 (耐火等級: 120分)	(耐火等級: 120分) F120
	窓 (耐火等級: 120分)	2012台幅 MAX0000 L E
	ガラス仕切壁 (耐火等級: 120分)	2012台幅 MAX0000 L E
	ガラス入り扉 (耐火等級: 120分)	(耐火等級: 120分)
	ガラス入り扉 (耐火等級: 120分)	(耐火等級: 120分) F120
	ガラス入り扉 (耐火等級: 120分)	2012台幅 MAX0000 L E
	ガラス入り扉 (耐火等級: 120分)	(耐火等級: 120分)
	ガラス入り扉 (耐火等級: 120分)	2012台幅 MAX0000 L E
	ガラス入り扉 (耐火等級: 120分)	2012台幅 MAX0000 L E





## ■平面図

平面図で表現する線種設定、建具のラベル、排煙種別や防火区画関係のゾーン塗りつぶしや自然排煙口等の記号の凡例を示している。

防火-防煙区画関係	防火-防煙関係	防火-防煙関係	防火-防煙関係	防火-防煙関係	防火-防煙関係	排煙種別関係	防火-防煙区画関係
<ul style="list-style-type: none"> <li>— 防火区画(難燃被覆)</li> <li>- - - 防火区画(耐火被覆(耐火被覆リッパ))</li> <li>— 防煙区画(防煙被覆)</li> <li>- - - 防煙区画(防煙被覆)</li> <li>- - - 防煙区画(防煙被覆)</li> <li>① 防火上重要区画(防煙)④(114号)</li> <li>防火上重要区画(防煙)④(114号)</li> <li>防火上重要区画(防煙)④(114号)</li> <li>防火上重要区画(防煙)④(114号)</li> <li>30m, 30m</li> <li>防火区画(耐火被覆)</li> </ul>	<p>[特]1 燃焼防炎性 耐火区画被覆 ④(114号)防煙被覆</p> <p>[特]2 燃焼防炎性 耐火区画被覆 防煙被覆 ④(114号)防煙被覆</p> <p>[防]1 燃焼防炎性 耐火区画被覆 ④(114号)防煙被覆</p> <p>[防]2 燃焼防炎性 耐火区画被覆 防煙被覆 ④(114号)防煙被覆</p>	<p>(特)1 燃焼防炎性(耐火被覆)耐火区画被覆 ④(114号)防煙被覆</p> <p>(特)2 燃焼防炎性(耐火被覆)耐火区画被覆 防煙被覆 ④(114号)防煙被覆</p> <p>(防)1 燃焼防炎性(耐火被覆)耐火区画被覆 ④(114号)防煙被覆</p> <p>(防)2 燃焼防炎性(耐火被覆)耐火区画被覆 防煙被覆 ④(114号)防煙被覆</p>	<p>(SS)1 燃焼防炎性(耐火被覆)耐火区画被覆(リッパ) ④(114号)防煙被覆</p> <p>(SS)2 燃焼防炎性(耐火被覆)耐火区画被覆(リッパ) 防煙被覆 ④(114号)防煙被覆</p> <p>(防) 防煙区画(耐火被覆)耐火区画被覆(防煙被覆) ④(114号)防煙被覆</p>	<p>[木] 燃焼防炎性(耐火被覆)</p> <p>[木] 燃焼防炎性(耐火被覆) 不燃被覆</p> <p>自然排煙口</p>	<p>燃焼防炎性(耐火被覆) (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>耐火区画被覆(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>耐火区画被覆(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>耐火区画被覆(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>耐火区画被覆(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p>	<p>自然排煙口</p> <p>燃焼防炎性(耐火被覆) (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>燃焼防炎性(耐火被覆) 不燃被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>燃焼防炎性(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>燃焼防炎性(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p>	<p>燃焼防炎性(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>燃焼防炎性(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>燃焼防炎性(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>燃焼防炎性(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p> <p>燃焼防炎性(耐火被覆) 防煙被覆 (耐火被覆)④(114号)防煙被覆</p>



## 防火区画 建具防火性能符号凡例表

符号の種別に関しては各プロジェクトに必要な項目および凡例を整理する。

防火設備の建具符号は下記の通り表現する。

### 防火設備関係

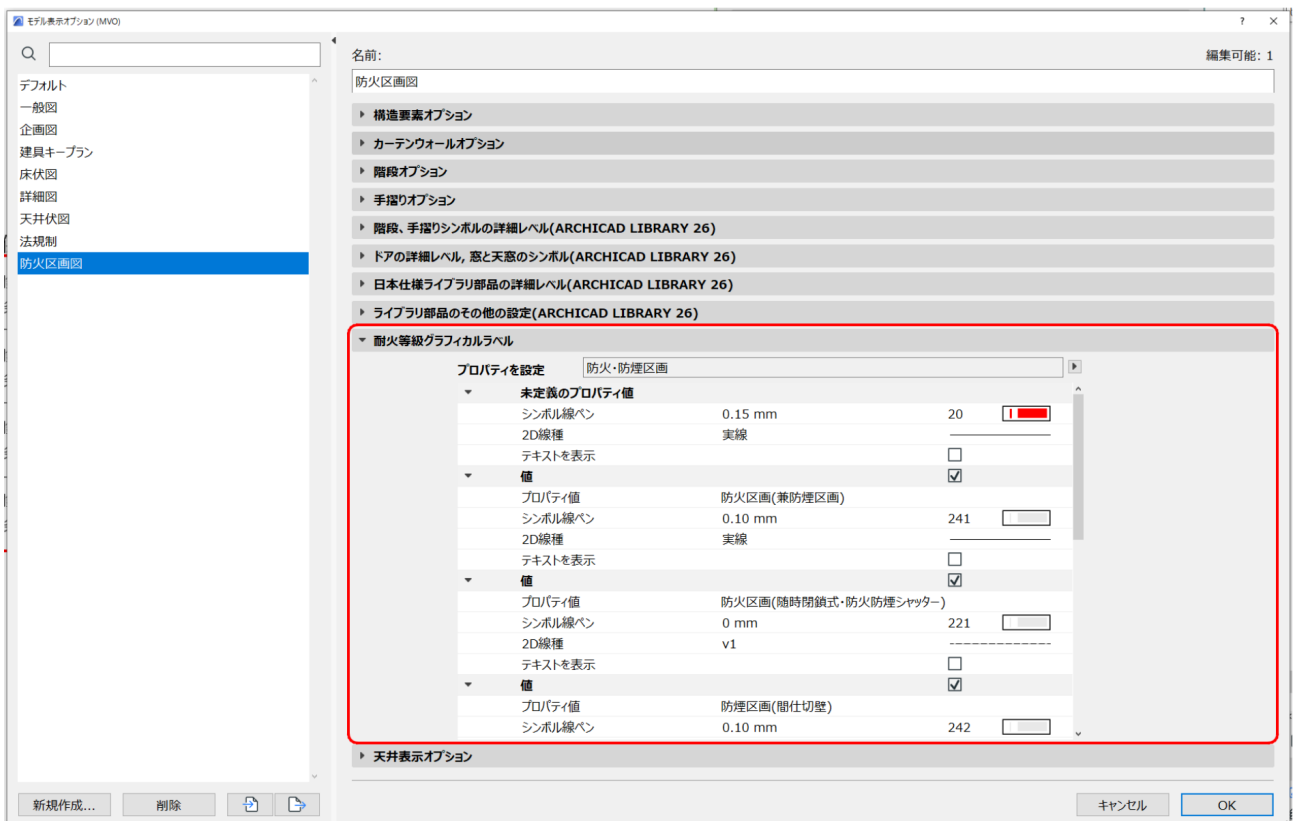
<b>[特]1</b> 常時閉鎖式 特定防火設備 令112条19項第一号	<b>(特)1</b> 随時閉鎖式(熱・煙感知)特定防火設備 令112条19項第一号	<b>(SS)1</b> 随時閉鎖式(熱・煙感知)特定防火設備シャッター 令112条19項第一号	<b>[不]</b> 常時閉鎖式不燃性扉
<b>[特]2</b> 常時閉鎖式 特定防火設備 遮煙性能 令112条19項第二号	<b>(特)2</b> 随時閉鎖式(煙感知)特定防火設備 遮煙性能 令112条19項第二号	<b>(SS)2</b> 随時閉鎖式(煙感知)特定防火設備シャッター 遮煙性能 令112条19項第二号	<b>(不)</b> 随時閉鎖式煙感運動自閉式不燃性扉
<b>[防]1</b> 常時閉鎖式 防火設備 令112条19項第一号	<b>(防)1</b> 随時閉鎖式(熱・煙感知)防火設備 令112条19項第一号	<b>防</b> 外壁開口部用防火設備(網入りガラス等) (法第2条第九号の二ロ・法第64条)	※PS・EPSは床面にて水平区画し、 点検扉は不燃扉以上とする。
<b>[防]2</b> 常時閉鎖式 防火設備 遮煙性能 令112条19項第二号	<b>(防)2</b> 随時閉鎖式(煙感知)防火設備 遮煙性能 令112条19項第二号		➡ 自然排煙口

## 耐火等級グラフィカルラベル

「モデル表示オプション」「防火区画面」「耐火等級グラフィカルラベル」のプロパティにより、防火・防煙区画のプロパティを設定する。

耐火等級グラフィカルラベルはラベルツールにより壁を選択することで、壁ツールの「防火・防煙区画」プロパティに従い区画線が追加される。

耐火等級グラフィカルラベルでは、スパンドレルの表示およびその寸法表現まで設定が可能である。



## ■ALVS 表

有効採光・排煙・換気面積算定表、ALVS 判定表の各表のテンプレートを用意している。各算定表の計算に含める開口は「ALVS 共通」「ALVS 分類(建具)」により計算対象となるように設定する。カーテンウォールもパネル単位で各面積算定に含めることができる。

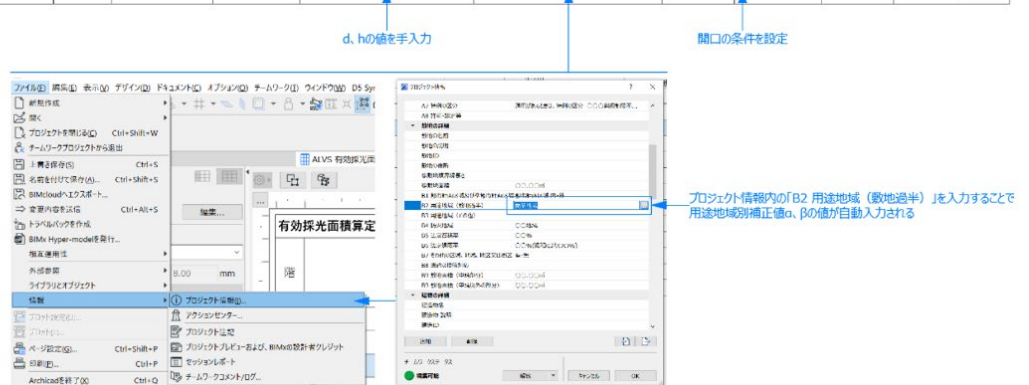
### 有効採光面積算定表

有効採光面積算定表を作成する。各室に配置された建具の開口面積が計算式と共に自動的にまとめられている。

d:水平距離、h:直情部分までの垂直距離は手動で入力する。用途地域別補正值  $\alpha$ 、 $\beta$  はプロジェクト情報内プロパティに用途地域を入力することで自動で計算される。道に面するか、開口は天窓か否かの条件を入力することで採光補正係数:K が導き出される。

最終的に各室の LA':有効採光面積の合計値が算出されるので、ALVS 判定表に各室の LA' の値を入力する。

階	室名	建具種類	建具番号	計算式	開口面積 (㎡)	K:採光補正係数					LA':有効採光面積 (㎡) [開口面積 × K]	
						d:水平距離 (mm)	h:直上部分までの垂直距離 (mm)	採光関係比率の算定値: [d/h × 用途地域別補正值α 用途地域別補正值β]	用途	道に面する		天窓 (≧3.0) 又は窓の外側に開口 (≦0.7)
1F	事務室	AW	1	2,100 × 2,050	4.3	2,400	120,000	d/h × 10.00-100=-0.80 (< 1.0)	☑	-	1.00	4.31
	事務室	AW	1	2,100 × 2,050	4.3	2,400	120,000	d/h × 10.00-100=-0.80 (< 1.0)	☑	-	1.00	4.31
	事務室	AW	1	2,100 × 2,050	4.3	2,400	120,000	d/h × 10.00-100=-0.80 (< 1.0)	☑	-	1.00	4.31
	事務室	AW	1	2,100 × 2,050	4.3	2,400	120,000	d/h × 10.00-100=-0.80 (< 1.0)	☑	-	1.00	4.31
	事務室	AW	1	2,100 × 2,050	4.3	2,400	120,000	d/h × 10.00-100=-0.80 (< 1.0)	☑	-	1.00	4.31
	事務室	AW	2	2,100 × 2,050	4.3	<未定義>	<未定義>	<未定義>	☐	-	<未定義>	<未定義>
	事務室	AW	3	1,600 × 1,700	2.72	<未定義>	<未定義>	<未定義>	☐	-	<未定義>	<未定義>
	事務室	AW	3	2,100 × 2,050	4.3	<未定義>	<未定義>	<未定義>	☐	-	<未定義>	<未定義>
	事務室	AW	4	2,100 × 2,050	4.3	<未定義>	<未定義>	<未定義>	☐	-	<未定義>	<未定義>
	事務室	AW	5	2,100 × 2,050	4.3	<未定義>	<未定義>	<未定義>	☐	-	<未定義>	<未定義>
												25.86 m <sup>2</sup>



### 有効排煙面積算定表

有効排煙面積算定表を作成する。各室に配置された建具の開口面積が計算式と共に自動的にまとめられている。排煙開口有効幅・高さは手入力で入れなおすことも可能。建具によっては開き確度や開口率を指定する。

最終的に各室の SA':有効排煙面積の合計値が算出されるので、ALVS 判定表に各室の SA' の値を入力する。

排煙開口有効幅・高さは手入力で入れなおすことも可能

天井高さは仕上表とは別に手入力が必要

デフォルト値=1  
手入力で修正可

階、室名	建具種類	建具番号	天井高 (mm)	排煙開口有効幅	排煙開口有効高さ	開口面積計算式	開口面積 (㎡)	開き角度 (°)	開口率	SA: 有効排煙開口面積 (㎡)
1FL, 事務室										
	AW	1	2,600	2,100	800	2,100 × 800	1.68	-	1.00	1.68
	AW	1	2,600	2,100	800	2,100 × 800	1.68	-	1.00	1.68
	AW	1	2,600	2,100	800	2,100 × 800	1.68	-	1.00	1.68
	AW	1	2,600	2,100	800	2,100 × 800	1.68	-	1.00	1.68
	AW	1	2,600	2,100	800	2,100 × 800	1.68	-	1.00	1.68
	AW	1	2,600	2,100	800	2,100 × 800	1.68	-	1.00	1.68
	AW	1	2,600	2,100	800	2,100 × 800	1.68	-	1.00	1.68
	AW	1	2,600	2,100	800	2,100 × 800	1.68	-	1.00	1.68
	AW	1	2,600	2,100	800	2,100 × 800	1.68	-	1.00	1.68
	AW	3	2,600	1,600	480	1,600 × 480	0.77	-	1.00	0.77
										17.57 m <sup>2</sup>

排煙種別	SA: 必要自然排煙面積(㎡) [室面積 × 1/50]	SA: 有効排煙面積(㎡)	排煙判定
自然排煙	0.87	2.00	SA < SA' OK
自然排煙	2.51	-	
H12告示1436号第4号二2	-	-	免除
H12告示1436号第4号二2	-	-	免除
H12告示1436号第4号二2	-	-	免除

採光・換気・排煙面積算定表の値を確認し  
確定値を手入力

### 有効換気面積算定表

有効換気面積算定表を作成する。各室に配置された建具の開口面積が計算式と共に自動的にまとめられている。建具によっては開口率を指定する。

最終的に各室の VA' : 有効換気面積の合計値が算出されるので、ALVS 判定表に各室の VA' の値を入力する。

階	建具種類	建具番号	開口面積計算式	開口面積 (㎡)	開き角度 (°)	開口率	VA': 有効換気開口面積 (㎡)
1FL, 事務室							
	AW	1	2,100 × 2,050	43.10	-	1.00	43.10
	AW	3	1,600 × 1,700	2.72	-	1.00	2.72
							45.82 m <sup>2</sup>

デフォルト値=1  
手入力で修正可

### ALVS 判定表

有効採光・排煙・換気面積算定表で算出された LA', SA', VA' の値を手入力する。

※ArchiCAD の設定上、建具で算出した情報をゾーンのプロパティとして転記することができないため、手入力が必要。

自動的に判定結果が表示される。

## 参考資料

### ■テンプレート設定の読込手順

テンプレート設定を読み込む際は下記手順に従って読み込む必要がある。

順番	読み込むプロパティ
1	オブジェクト読み込み
2	プロジェクト情報
3	プロパティと分類は同時
4	属性設定
5	お気に入り
-	後は順不同で一覧表、MVO、表現の上書き

### ■各属性設定一覧

#### レイヤーセット

ID	名前
3	00 全てを表示
7	デフォルト
8	表示 3D ゾーン
9	11 平面図用
10	11 天井伏図用
11	作業用 構造梁伏
12	IFC 建物のみ
13	表示 3D 全て
14	11 立面図・断面図用
15	IFC 平面図
16	11 平面図用_1 階
17	99 通り芯・寸法・ゾーン・塗りつぶしのみ
18	11 断面図キープラン用
19	99 凡例用
20	10 屋根伏図用
21	作業用 図面レイヤーのみ表示
22	IFC 建物+周辺
23	19 防火区画図用
24	12 平面詳細図用_1/100
25	作業用 ゾーン作成用
26	ワークシート
27	12 平面詳細図用_1/100_1 階
28	12 平面詳細図用_1/50_1 階
29	10 平均地盤面算定図用
30	12 矩計図用_1 階平面詳細図
31	12 平面詳細図用_1/50
32	12 矩計図用
33	2 階 3 階平面図共通
34	11 配置図用
35	作業用 オペレータのみ
36	表示 3D パース
37	表示 アクソメ
38	12 展開図用
39	14 建具符号図_1 階
40	14 建具符号図
41	14 CW 姿図用
42	14 CW キープラン用
43	表示 建物のみ
44	15 防水範囲図用
46	15 断熱範囲見上げ図用
47	15 断熱範囲見下げ図用
48	15 ガラス種別図用
49	19 防火区画図用_1 階
50	99 凡例用のみ
51	10 求積図_床面積
52	レイアウト用
53	10 共通凡例用
54	10 求積図_建築面積
55	19 延焼ラインチェック
56	19 延焼ラインチェック_1 階
57	作業用 構造スラブ
58	19 防火区画図用_R 階
59	19 防火区画図用_PIT

## レイヤー

ID	名前
1	Archicad レイヤー
2	20 壁：躯体
3	20 屋根
4	20 梁
5	20 柱
6	20 スラブ
7	20 階段
8	10 メッシュ
9	10 ゾーン
10	30 オブジェクト
11	20 ランプ
12	00 通り芯
13	00 寸法
14	00 テキスト
15	00 ラベル
16	00 塗りつぶし
17	00 線
18	10 ホットスポット
19	00 画像
20	00 図面
21	00 マーカー：断面図
22	00 マーカー：詳細図
23	00 マークアップ
24	00 マークアップ非表示
25	10 オペレータ
26	10 モジュール
27	10 非表示
28	20 壁：間仕切り
29	20 天井
30	20 床
31	00 マーカー：立面図
32	00 マーカー：展開図
33	00 ワークシート
34	20 カーテンウォール
35	10 シェル
36	Massplan ゾーンチェック
37	10 モルフ
38	00 変更
40	20 基礎梁
41	20 基礎
42	20 手摺
66	40 地面
67	40 外構
68	20 造作
69	50 設備
75	00 面積表
76	00 ラベル：防火区画図用
77	20 壁：仕上

78	00 ゾーン区分線
79	20 壁：躯体立上り
80	00 ラベル：詳細図
81	00 寸法：1/100 平面詳細図
82	00 ラベル：ゾーン 1/200 平面図
83	00 ラベル：ゾーン 1/100 平面詳細図
84	00 寸法：1/50 平面詳細図
85	00 ラベル：FL/SL 平面図用
86	00 ラベル：FL/SL 平面詳細図用
87	00 図面：平均地盤面算定図用
88	00 ラベル：内壁タイプ
89	00 ラベル：内壁タイプ 1/50 平詳細図
90	40 外構：舗道
91	30 家具
92	40 添景
93	40 外構：金物
96	20 外壁
97	40 外構：緑化
98	00 ラベル：平面詳細図用
99	00 寸法：1/100 平面詳細図のみ
100	0 凡例・符号等（非表示）
101	00 図面：配置図用
102	40 周辺建物等
103	00 ラベル：配置図用
104	00 ラベル：ゾーン 天井伏図用
105	00 線：天井伏図用
106	50 設備：上部設備
107	00 ラベル：天井伏図用
108	00 ラベル：ゾーン 1/50 平面詳細図
109	00 ラベル：建具符号
110	00 ラベル：ゾーン 建具符号図その他用
111	00 マーカー：CW 姿図
112	20 スラブ下断熱材
113	00 敷地境界線
114	00 寸法：防火区画図用
115	00 寸法：配置図用
116	00 マーカー：断面詳細図
117	50 EV
118	00 求積図用塗りつぶし
121	00 寸法：求積図_床面積
125	50 空調設備
126	避難経路
127	10 ゾーン_求積
128	00 ラベル：ゾーン求積図_床面積
129	10 ゾーン_建築面積
130	20 壁：防火区画スパンダレル
131	00 寸法：求積図_建築面積
132	00 ラベル：ゾーン求積図_建築面積
133	00 寸法_2
134	00 線：延焼の恐れのある部分

<b>135</b>	20 下地鉄骨：縦
<b>136</b>	00 ラベル：梁符号
<b>137</b>	20 設備架台

<b>138</b>	20 庇
<b>139</b>	30 オブジェクト_非常用進入口
<b>140</b>	20 壁：垂壁



## ペンセット

ID	名前
1	01 意匠設計
2	02 意匠設計_グレースケール
3	03 意匠設計_詳細図
4	04 意匠設計_詳細図_グレースケール
5	05 構造設計
6	06 設備設計

7	07 電気設計
8	08 ARCHICAD 23
9	01 意匠設計_白黒(法規制表記以外)
10	12 平均地盤面算定図用
11	11 配置図用
12	13 防水・断熱範囲図用